

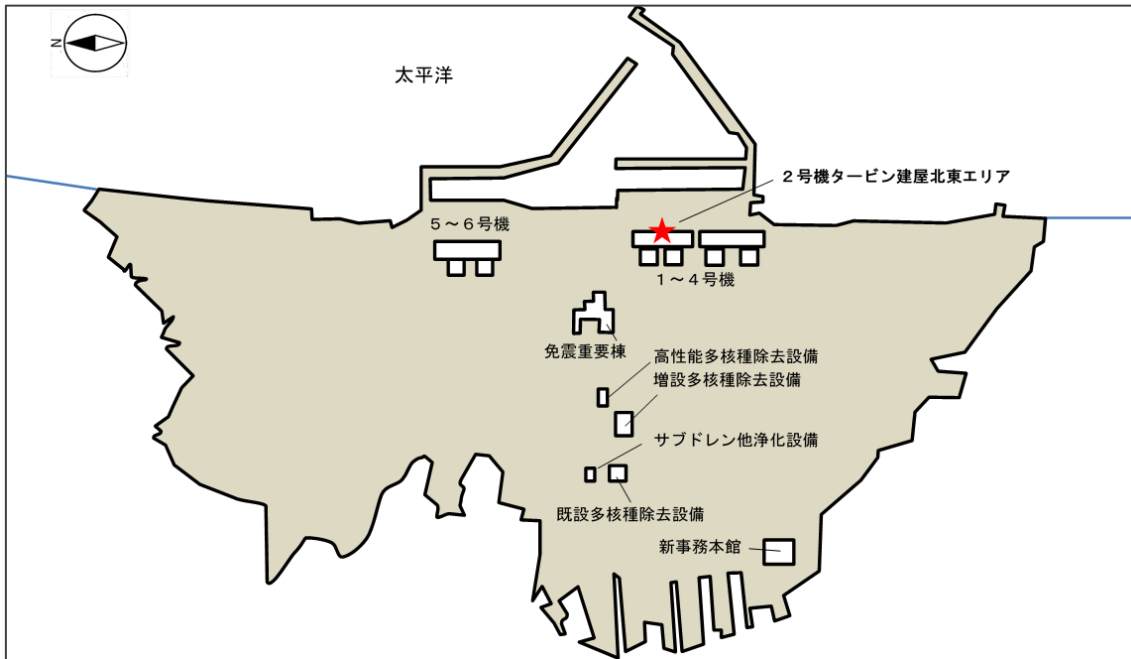
福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和2年1月30日（木）
- 2 確認箇所
2号機タービン建屋北東エリア
- 3 確認項目
2号機タービン建屋北東エリアにおける滞留水水位の運転上の制限逸脱事象への対応状況
- 4 確認結果の概要

昨日（1月29日）、2号機タービン建屋北東エリアの建屋滞留水水位が上昇し、建屋周辺に設置されているサブドレンピット※の水位を上回ったため、実施計画に定める運転上の制限「2号機タービン建屋の滞留水水位が建屋近傍のサブドレン水の水位を超えないこと」を満足していないとの報告が東京電力よりあったことから、対応状況を確認した。なお、東京電力によると、当該エリアに最も近いサブドレンピットの水位は当該エリアの水位よりも高いことから、滞留水の建屋外への漏えいの可能性は低く、さらにプラントパラメータやモニタリングポスト等の指示値に異常は確認されていないとのことであった。

- ・現場確認時、東京電力社員が2号機タービン建屋北東エリア地上部の開口部において滞留水の水位測定並びに画像撮影を行っていた。（写真1）
- ・東京電力によると本日（1月30日）12時00分、サブドレンピットの水位が2号機タービン建屋北東エリアの水位を上回ったことを確認したことから、今後、運転上の制限逸脱からの復帰判断をするとのことであった。また、当該エリアの滞留水の排水準備を進めており、準備が整い次第、排水作業を開始するとのことであった。

※サブドレンピット：建屋周りの地下水を汲み上げ、地下水位をコントロールするための井戸。なお、汲み上げた地下水は浄化・分析後に港湾内に排水される。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
作業状況



(写真1-2)
開口部の状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。